

議会だより



金武町イメージキャラクター
金武タームくん



きんこう
沖縄県金武町

きんてん

第150号

発行：平成29年9月1日



* 特産品シリーズ * 収穫期を迎えたマンゴー

主な内容

一般質問	2~15P
仲間昌信 / 外間慎仁 / 松田義政 / 仲村広美 / 安富信武 / 大城一之 / 池原政文 吉野 潤 / 伊藝高志 / 伊藝直樹 / 伊芸政男 / 前田健次 / 仲間トム / 崎浜秀幸	
平成29年第2回(6月)定例会 議決結果一覧	16~17P
産業建設委員会 所管事務調査	18P
金武町議会議員研修、研修受入れ(岡山県矢掛町、久米島町)	19~20P

◆発行：金武町議会 ◆編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1292 沖縄県国頭郡金武町字金武1番地 NTT098-968-2292 有線電話 8-2292
金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp> 金武町議会メールアドレス gikai@town.kin.okinawa.jp

きんてん(均霑)とは…「^{ひと}均しく^{うるお}霑う」という意味で町民が等しく行政の恩恵を受けられるよう町民代表の議決機関の使命を踏まえて昭和55年の発行第1号の際に命名しました

平成29年第2回(6月)定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



仲間 昌信 議員

人材育成基金の創設

仲間議員 現在のふるさと創生基金を人材育成基金に変更し、その権利を教育委員会に帰属させることについて。

比嘉貴一 教育長 町ではふるさと創生基金を分割し、新たな基金を創設して、ふるさと創生基金で行われてきた教育に係る人材育成交流事業を教育委員会が所管し、実施する準備を進めている。

仲間議員 基金創設をした

場合、各財産管理会等へ負担の協力要請をするのか。

教育長 基金の増資については、各区の奨学金貸付制度の状況と、各財産管理会から各区の奨学金貸付制度への支援の状況を調査したうえで検討していく。

仲間議員 寄附金等の受け皿については、人材育成財団を創設する考えはないか。

教育長 公益法人制度改革に伴う法制度の改正により、財団法人金武町育英会が解散されたが、新たな財団への移行ができなかったため、町がその財産を引き継いだ経緯があり、現行の法制度のもとでの新たな財団法人の創設は困難だと考えている。

バス貸補助制度

仲間議員 昨今、子の貧困問題は、全国的に問題化している。子の貧困対策として高等学校等の在学生にバス貸補助制度を新設し、現物給付を実施する考えがあるか。

教育長 現在バス通学をする町の高校生の数は、約340人と推計している。毎日全員がバスを利用して通学していると仮定した場合のバス賃は、概算で年間7000万円以上になると見込まれる。

町では、今年度から学校給食の完全無料化を始めており、給食の賄材料費約6300万円を負担していることから、さらに高校生の通学費を一般財源で支出し、事業を継続していくことは、非常に困難であると考えている。

現在町では、北部市町村

と連携し、教育に関する人材育成を主とした事業を国に要望しているところであり、沖縄振興予算による事業化を実現できるよう取り組んでいく。

仲間議員 北部、中部、南部に通っている子どもたちは何名いるのか。

知念久 学校教育課長 今年3月に卒業した金武中学校3年生の生徒、現高校1年生は北部が48名、中部が60名、南部が2名となっている。

仲間議員 北部48名の内訳は。

学校教育課長 48名の内訳は宜野座高校が43名、北部農林高校が1名、名護商工高校が3名、沖縄工業高等学校が1名となっている。

仲間議員 中部の高校だとバス賃だけで3ヶ月5万8000円、7万円かかっている。

県が子の貧困対策として基金30億円を積み立て、市町村に振り分けてその対策に充てるように示唆はあったか。

学校教育課長 金武町においては貧困対策として平成28年度からということですが基金から2600万円割り当てられている。今年度は就学支援と放課後健全育成事業に割り当てて事業を行っている。予定である。



高校生が通学に利用する路線バス

仲間一町長 3町村で充実したスポーツ施設や体験メニューを初めとする特色を生かし、連携して事業に取り組み。今後も観光物産展やPR活動を含めた観光

外間議員 やんばるが国立公園に指定され、早くて来年夏ごろには世界遺産登録が予定されているが、金武、宜野座、恩納の3町村は、やんばるの入り口としての役割などがあるかと思うが今後の3町村の広域連携による観光受け入れ体制や整備、誘致活動などをどのように行っていくか。

3町村広域連携による観光まちづくり



外間 慎仁 議員



伊芸サービスエリア

振興事業強化のため、平成30年度から商工観光課の設置を進めていく。
外間議員 伊芸サービスエリア(休憩所)に、やんばるの入り口機能として町の計画する道の駅とは別に3町村が連携、中心となる道の駅などの観光、物産の拠点、施設整備ができないか。
町長 現在、沖縄総合事務局、沖縄自動車道を管理する西日本高速道路(株)、金武町及び中城村により、当該エリアを活用した地域活性化に向けた協議を進めている。町や隣接する市町村を含めた特産品や観光情報を取り扱いの計画している。

人材育成について

外間議員 スーパー公務員

と言われる地域活性化を図り、町を元気にするまちづくりコーディネーター的役割を担う職員の育成をどのように行ってきたか。

町長 職員の研修は、市

町村振興協会の主催する初任者研修や監督者研修などの職務研修、国や県が行う専門的研修、財団法人の主催するセミナー、経営者協会が主催するかりゆし塾において、民間企業や公務員が合同で各市町村の地域活性化を基本テーマとした実践形式の研修を行っており、その研修内容がマスコミに取り上げられるなど、成果があらわれているところである。

外間議員 これからの人材

育成については。

町長 今後さらに職員

ちづくりのリーダーを育成する研修や外部からの専門講師を招聘し、役場職員全体の研修に取り組みなど、職員のスキルアップを図り、町の活性化につなげていきたいと考えている。

外間議員 意識を改革する

専門家を役場に何年か契約し招聘して事業をとる指導、事務的な作業を指導して職員の意識改革を含めてやっていっていただきたいが。

町長 国とのやりとり

の中で、幹部クラスの国の職員なりが金武町等に出向して、いろいろな国の仕組み、あるいは国の仕事の進め方等々、役場職員にいろいろ教授していただければというふうに思っているところである。

外間議員 大人を人材育成

していかないと子ども達ので役割が中心となってやっていただきたい。

渡慶頭原地区の防災と生活道路の進捗状況等について

外間議員 渡慶頭原、伊芸、

屋嘉地区は低地帯であり、災害時の避難道路の整備や日ごろの生活道路としての整備が必要で以前から要望しているが、進捗状況は。

また、渡慶頭原地区にあるキャンプ・ハンセンゲート46からの車両の出入り口による住民の安心・安全な暮らしに影響が出ておりゲート閉鎖するよう要望しているが、現状は。

町長 渡慶頭地区の新設

道路の整備は、平成29年度に用地買収、平成30年度に整備する計画である。

基地従業員等によるゲート46からの車両の出入りについては、徐行を促す看板等の設置を行っている。また、キャンプ・ハンセンの涉外官を通じてゲートの閉鎖について要望している。



仲村 広美 議員

地域子育て支援センター

仲村議員 支援センターの利用状況について。

仲間一町長 平成28年度における子育て支援センターの利用状況については、開所日数が258日、月平均で21.5日となっております、利用者については、保護者が延べ2751名、月別の平均利用者が229名、幼児が延べ3566名、月別の平均利用者が297名となっております。

仲村議員 今後の課題は。

町長 今後の課題については、これまで実施してきた育児相談や育児講座の内容等の充実を図るとともに、

子育て世代包括支援センターの役割も果たすべく、妊娠から子育て期にわたるまで、専門的な知見と当事者目線から切れ目のない支援や地域のさまざまな関係機関とのネットワークを構築し、子育て世代に役立つ施設を目指していく。

仲村議員 インターネットを検索してもオープン当初のものしか載っていないが。

仲間賢保健福祉課長

ホームページの更新が滞っている部分があったため、しっかりと更新をしていく。



支援センターを利用する親子

保育園・認定こども園

仲村議員 保育園・認定こども園について。今後の課題は。

町長 幼児期から就学前児童の保育、幼児教育の充実を図るため、金武幼稚園と金武保育所を、嘉芸幼稚園と嘉芸保育所をそれぞれ認定こども園化し、平成30年4月の開園を目指し、取り組んでいる。

現在、認定こども園化に向けては、保健福祉課、学校教育課、町立幼稚園、保育所で組織する幼保行政等改革会議を実施している。今後の課題については、会議で挙げた課題の解消や認定こども園化に伴う施設の一部改修、教育課程の設置、保護者等への周知などがあり、これらの課題をクリアし、スムーズな移行に努めていきたいと考えている。

仲村議員 認定こども園は町で初めての取り組みで保護者も戸惑っている。こども園、保育園の申し込みを早目に周知し、手続をスムーズに行える環境を整え、子どもたちの諸問題、保育園から幼稚園、小学校に關しての諸問題に対応していくために、窓口一本化が求められてくると思うが、どのように考えているか。

保健福祉課長 受け付け、手続について、町の周知、制度の説明というのが不十分であり、保護者にも御迷惑をかけたという苦い経験がある。保護者への周知、制度の説明を9月後半から10月にかけてできるだけように取り組んでいる。

窓口を一本化にしなければいけないということで、来年4月をめどに子ども支援課の設置に向けて予算等も含めて既に議論を進めている。

道の駅基本計画

仲村議員 道の駅の運営方法と場所の選定について。

町長 町は、観光及び産業の振興を図るため、特産品直売所が一体となった道の駅の整備に向けて、金武町の駅基本計画策定委員会により、審議を進めており、運営方法については、公設民営方式を含め検討している。場所の選定については、交通の利便性等を勘案して検討している。

仲村議員 道の駅基本計画策定委員会の会議内容は。

町長 審議内容は、建設用地や施設概要、取扱商品等について行っている。独自性のある施設の構築、特産品の安定供給等について慎重に審議する旨の提案があり、提案された課題等について、生産者、各委員からの意見を踏まえ対応策を検討していく。



安富 信武 議員

地方公会計マニュアル

安富議員 平成30年3月決算期までに統一基準による財務書類の公表が求められている。金武町はどのような対応をしているか。

仲間一町長 本町においては、平成27年度決算より

統一的な基準にて、財務書類等を作成し、町のホームページ上で公表している。安富議員 地方公会計統一基準制度は、単式簿記から複式簿記への移行するよう対応を求めている。それに伴うシステム変更等も含めた工程企画は。

町長 予算の適正、確実な執行を図るといふ観点か

ら、町では基本的に単式簿記を採用しているが、単式簿記では把握できない資産及び負債や減価償却費等を把握するため、その補完として複式簿記も導入し、統一的な基準において財務書類を作成している。

毎年、連結決算財務諸表支援業務委託にて、財務書類を作成しており、新たなシステム変更等もなく、平成27年度決算同様に引き続き統一的な基準での財務書類作成及び公表を行っている。

安富議員 固定資産台帳の整備がうたわれているが、金武町における固定資産台帳はどういう形になっているか。

安富祖昇総務課長 町の公共施設の土地を含めた固定資産税台帳については28年度で終了しており、その公会計制度に向けてどう活用するか検討していく。

ギンバル基地跡地開発

安富議員 当該開発地域内の長浜東海岸（ビーチ）が完成し、安全に遊泳が可能となるまでの工事手順と日程は。

町長 沖縄県が実施する

金武湾海岸ギンバル地区環境整備事業については、平成29年度から平成32年度までの事業計画となっており、平成29年度は工事用道路、南側護岸、南側突堤等の施工、平成30年度は南側突堤、北側護岸、南側養浜の施工、平成31年度は北側護岸、北側養浜の施工、平成32年度は北側養浜、植栽の施工予定となっており、平成33年度から遊泳ができる予定となっている。

安富議員 ホテルを建設するトロピカーナの代表者から海岸（ビーチ）の利活用がホテル開業の必須条件であり、海岸の美しさが魅力

的であるという話を聞いている。第1工区に開業予定のヒルトンホテル等の建設、開業の計画は。

町長 ホテル等の建設については、開発を手がける会社において、平成26年度に基本設計及び第1工区の造成工事が完了している。

現在、沖縄県が実施する金武湾海岸ギンバル地区環境整備事業の動向にあわせ、第1工区の着工は平成30年7月までに行い、竣工が平成32年12月末となっている。ホテルの開業については、平成33年1月以降の予定である。

安富議員 第1工区から第5工区までの開発計画が示されていた。現在工事（計画）が大幅に遅れている。今後の開発計画は。それに関連して金武町の産業育成、雇用への影響は。

町長 第1工区から第5工区までの開発計画は、約

15年をかけて整備されていく予定となっている。

金武町の産業育成、雇用への影響については、当初計画から約3年遅れており、新たな産業創出や雇用につながっていない状況がある。

現在、金武町では、金武町就活支援センターを中心として、各種資格取得のための講座開設やキャリア教育の人材育成に取り組んでいるところであり、ギンバル訓練場跡地に関連する企業も含めてさまざまな業種に就業できる人材を育成しながら、町民の雇用促進を引き続き支援していく。



ギンバル訓練場跡地のホテル予定地



大城 一之 議員

受動喫煙防止対策

大城議員 2020年東京

オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、健康増進の観点に加え、受動喫煙法規制の整備状況などが喫緊の課題になっているが、それを踏まえ、町内公の場での受動喫煙防止対策で、役場庁舎、公民館やスポーツ施設、教育福祉施設等の現状について。

仲間一町長 町の受動喫煙防止対策の現状について

は、役場庁舎内は一部を除いて禁煙となっており、中央公民館やスポーツ施設内及び教育福祉施設内においては全面禁煙となっている。

また、それぞれの公共施設の屋外には喫煙所を設置している状況である。

大城議員 町内事業所と受動喫煙防止対策助成金の活用は。

町長 受動喫煙防止対策助成金は、厚生労働省が中小企業へ喫煙室や屋外喫煙所等の設置、改修に係る費用を助成する制度である。事業所が沖縄労働局に直接申請をする制度であるため、町内事業者がこの助成金を活用しているのかについては把握できていない。

大城議員 現状を踏まえ今後の対策は。

町長 今後の対策としては、職場における受動喫煙防止対策が事業者の努力義務となっており、役場庁舎を含む公共施設については、屋外の決められた喫煙所のみ喫煙可能とするなど、受動喫煙防止対策を講じる。

禁煙外来治療費助成金

大城議員 喫煙、受動喫煙に関する健康被害は。

町長 喫煙等の健康被害については、喫煙年数、1日の喫煙本数、喫煙開始年齢が、がんや虚血性心疾患、呼吸器等の疾患、子供や妊婦への健康影響のリスクの高さと関連していることが示されている。

大城議員 町内医療機関での禁煙外来実施は。

町長 町内医療機関の状況については、金武クリニック、おくまクリニック、KIN放射線治療・健診クリニック、屋嘉クリニックの4医療機関において禁煙外来が実施されている。

大城議員 禁煙外来治療費助成金交付事業とその実施は。

町長 治療費助成については、禁煙外来は健康保険が適用となる治療であること、他の疾患での外来治療費と比較し、個人負担が大きい治療とは考えにくいことから、助成金の交付事業としては考えていない。

大城議員 国内に禁煙外来治療費助成金はあるのか。

仲間賢保健福祉課長 県内においては確認を取っていないが、県外では助成をしている市、町があるのを確認している。

大城議員 ギンバルスポーツ施設の道路誘導標識と交通状況

大城議員 ギンバル訓練場跡地に開設したスポーツ施設が賑わいをみせているが各施設への道路誘導標識と交通状況は。

町長 各施設への誘導については、町が作成した案内看板を国道からギンバル訓練場跡地内を走る町道中川30号線沿いの野球場入り口付近並びにフットボールセンターへの進入路となる

町道中川34号線、町道金武242号線との合流地点に設置しており、また、春季キャンプの時期には、国道からスポーツ施設へ誘導できるようなのぼり旗を設置している。

交通状況は、週末は大会等で利用が多く、周辺道路が混雑することもある。

大城議員 住宅地街が問題であり、道路を誘導する標識をつけてもらいたいと住民の要望があるが、それに対して町の対応は。

新里朝治社会教育課長 現場で調査をし、案内板を設置していく。

町道中川34号線、町道金武242号線との合流地点に設置しており、また、春季キャンプの時期には、国道からスポーツ施設へ誘導できるようなのぼり旗を設置している。

交通状況は、週末は大会等で利用が多く、周辺道路が混雑することもある。

大城議員 住宅地街が問題であり、道路を誘導する標識をつけてもらいたいと住民の要望があるが、それに対して町の対応は。

新里朝治社会教育課長 現場で調査をし、案内板を設置していく。

町道中川34号線、町道金武242号線との合流地点に設置しており、また、春季キャンプの時期には、国道からスポーツ施設へ誘導できるようなのぼり旗を設置している。

交通状況は、週末は大会等で利用が多く、周辺道路が混雑することもある。

大城議員 住宅地街が問題であり、道路を誘導する標識をつけてもらいたいと住民の要望があるが、それに対して町の対応は。



中川30号線沿いの案内板



池原 政文 議員

道の駅構想

池原議員 町は、金武町道の駅(仮称)整備に向けて、道の駅基本計画策定委員会を立ち上げ、当委員会を中心に建設予定地の選定、施設の機能、設備、運営等の協議を進め、整備に向け取り組んでいるが、基本計画策定の時期は何年度か。

仲間一町長 基本計画の策定については平成30年度を目標としている。

池原議員 国道金武バイパスの開通やギンバル訓練場跡地での施設等整備事業との関連も考えられると思うが、計画を急ぐ必要性が高いのか。

町長 国道金武バイパスやギンバル訓練場跡地での施設整備の進捗状況を勘案しながら計画を進めていく。

池原議員 この策定委員会の活動を見てみると、27年の12月からこれまで4回ほどの会議の開催となっているが、これは策定が本当にこの回数で30年度を目標にして策定できるのか。

安富祖勸産業振興課長

検討委員会は、これまで4回実施している。今年度は2、3回の検討委員会を実施して、基本計画策定に向けた課題と方向性を提案できればと考えており、各種団体の意見も踏まえ、検討委員会を行って、施設規模や課題を見出して方向性を決める目的で行い、平成30年度に実際の収支等の詳細に向けた基本計画策定、実施設計、施設整備の目標で進んでいきたい。

かんがい排水施設整備後の管理運営

池原議員 伊芸地区かんがい排水施設の整備が平成30年度に完了し、供用開始される予定であるが、農家の生産基盤が整い、農業用水の安定供給を図ることに

より農作物の生産性向上及び担い手の育成が図られるものと期待している。

施設整備後の農業用水及び施設の維持管理等の管理者は。

町長 農業用水及び施設の維持管理等については、団体営伊芸地区土地改良事業計画に基づき、金武町土地改良区が維持管理することになっている。

池原議員 受益農家等への施設使用などの説明会の実施は。

町長 受益農家等への説明会については、平成27年度に事業概要等に関する説明会を実施している。今後は、施設供用開始前までに維持管理、給水栓の使用方法、水使用量等の説明会を実施していく。

池原議員 今回、町の予算で金武町土地改良区運営の補助金として1894万6000円計上されているがこれは町だけの負担か。他の地区からの負担金もあるのか。

産業振興課長 金武町土地改良区の予算については、町の補助と金武町土地改良区が管理している並里区、金武区、屋嘉区からの負担金がある。

池原議員 伊芸区からも負担金は取っていくのか。

産業振興課長 伊芸区からの負担金もいただく計上となっている。

シツチ原土地改良地内の道路管理

池原議員 シツチ原地域の土地改良は、構造改善事業により昭和55年までに圃場の整備が行われ、本線道路については関係農家等の共有名義で公衆用道路として登記され利用されているが、当該道路の維持管理者はどこのか。なお、道路の一部に陥没箇所を確認したが、原因を調査し対応する必要があるが、対策は。

町長 当該道路については土地改良法に基づく換地処分が行われ、関係農家等44名の共有名義で公衆用道路として登記されている。道路の維持管理については伊芸区で行われているが修繕や草刈り等を町と区で連携して実施している。道路の陥没箇所については、原因究明と対策について早急に取り組んでいく。

町長 受益農家等への説明会については、平成27年度に事業概要等に関する説明会を実施している。今後は、施設供用開始前までに維持管理、給水栓の使用方法、水使用量等の説明会を実施していく。



吉野 潤 議員

公共工事に伴う指名競争入札並びに雇用の拡充

吉野議員 町内雇用の現状

を確認する意味として指名入札を行う場合の参加資格の条件として、事業者はその業種ごとの専任技術者を本社並びに営業所に置かなければならない（建設業法第7条2号）とうたわれているが、町内の指名競争の参加資格を得ている事業者の専任技術者の総数は何人か。

仲間一町長 事業者の専

任技術者の総数については、町内の指名競争の参加資格を得ている事業所は37社あり、建設業許可を受ける

ためには専任技術者を置かなければならず、技術者との兼務が可能となっていることから専任技術者有資格者の総数は231名である。吉野議員 工事現場における現場技術者（主任技術者、現場代理人等）は、町が発注している現場において、その現場ごとに適切に配置されているか。

町長 現場代理人等については、建設業法にもうた

われているとおりに適正に配置されており着手時には現場代理人届及び主任技術者等届の提出義務があるので、その際に確認をしている。

吉野議員 現行の建設業法

において、現場技術者（現場代理人等）と専任技術者との兼任はできないとうたわれているが、入札の際にその人員配置の確認はしっかりなされているのか。

町長 現場代理人等の人員配置については、建設業

法において、現場代理人等は当該工事現場に常駐しなければならぬとうたわれており、他の工事との兼任はできないこととなっているため、その人員配置については提出された書類をも

って確認している。吉野議員 現場技術者、現場代理人等の工事現場における安全性の確保や周辺環境の管理は適切にとり行われているか。

町長 工事現場における安全確保や周辺環境の管理

については、毎日の作業前の体操を初め当日の工事内容の確認や危険予知ミーティング等を実施しており、適正にとり行われているものと考えている。

吉野議員 工事現場の確認

作業は。町長 確認作業は毎週発注者と施工業者、施工管理者の3者で工程会議を開催し、その中で確認している。

防災対策

吉野議員 町においては、

町内全域に防災対策の野外スピーカーが設置されているが、各地域や場所などにおいては聞き取りづらいつの声も聞かれています。そういった状況を把握されているのか。

町長 町内全域に設置し

ている防災無線の音量等に関する意見については、町民から直接役場に報告を受けている。町としては、町民からの報告を受けた際に、維持管理をしている業者と現場の確認及び機器の調整をし、対応しているところである。

吉野議員 屋嘉地区ではハ

ウリングや風の向きによっては聞こえない場所もある。聞こえるところは3カ所から4カ所からも音が鳴るのでハウリングして逆に何を言っているかわからない。

区民の中には、前の無線放送のほうがよかったという声もある。その意見の集約というのは区長のところに行くと思うが、話されているか。

安富相昇総務課長 防災

スピーカーについては、間隔で、恐らくハウリングの状態になると思うが、その音域の広がりについてもその都度調査を入れて、各区の区長が放送責任者となっているので、その状況も聞き取りながら聞きやすい施設にしていきたいと考えている。



防災無線の屋外スピーカー



伊藝 高志 議員

ギンバル訓練場跡地開発

伊藝議員 昨年4月開業予定といわれていたホテル建設が遅れ、着工の兆しも見えない。今までの経過説明は。

仲間一町長 ホテル等の建設については、開発を手がける会社において、平成26年度に基本設計及び第1工区の造成工事が完了している。

伊藝議員 温泉施設については、3月議会において応募が2者あり、決まりそうとの答弁があったと思うが、今日まで決まっていない。何に原因があるのか。

町長 温泉事業者選定に



金武町ギンバル温泉揚湯設備

伴う公募を行い、2者の応募があったが、審査等の結果、書類の不備が多かったなどの理由から決定には至っていない。公募の際に応募を断念した業者などもあり、その断念理由として公募期間の短さなどの内容があった。そこで、町は公募期間等の内容を見直し、再公募を進めている。

県道104号線に接続するスマートインター設置

伊藝議員 町長は関係機関に働きかけて、実現に向けて取り組んでいく旨の表明をされている。その後の状況は。

町長 国道329号線は、キャンプ・ハンセン関係者の出勤時の車両によって慢性的な渋滞が発生している状況である。町では渋滞の緩和や地域活性化を目的に、県道104号線沿いのキャンプ・ハンセン第3ゲート付近にスマートインターの整備を検討してきた。これまで、沖縄県町村会等で構成されている沖縄振興拡大会議での要請や、沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会において、外務大臣や防衛副大臣へ設置の要請もしてきている。

平成29年5月には北部地域の道路網の整備促進並

キャンプ・ハンセン最新兵器の部隊投入

伊藝議員 新聞でキャンプ・ハンセンに無人機やロボット等の最新兵器の部隊が投入されたと報道があった。防衛局や米軍に事実関係を確認したいとあったがどのような部隊で、訓練の危険性はどうか。

町長 報道のあった最新兵器の訓練部隊投入に関することについて沖縄防衛局に問い合わせを行ったが、事実確認できていない状況である。

今回の最新兵器の訓練については、新聞紙上の報道のみで、具体的な情報が無い状況において、町としては引き続き沖縄防衛局に対し、キャンプ・ハンセンでの最新兵器の訓練に関する情報提供を強く求めていく。



伊藝 直樹 議員

中川小学校正門周辺整備

伊藝議員 中川小学校と幼稚園は新校舎になっているが、校舎外に駐車場の整備を考えているか。

比嘉貴一教育長 現在、中川小学校の職員数は19人で、駐車場台数は41台確保しており、通常は問題ない駐車スペースとなっている。運動会や学習発表会の際は、近隣施設の協力を得て駐車場を確保しており、それによって駐車場台数を確保できるため校舎外への駐車場の整備は考えていない。

知念久学校教育課長

(有)沖繩北部花卉園芸組合

伊藝議員 近隣施設はどこを確保しているのか。

の駐車場を利用させてもらっている。

伊藝議員 正門前の雑木が茂り、台風時には倒れて危険だと思うが、対策は考えているか。

教育長 中川小学校正門前の雑木対策については、これからの台風シーズンに備えて剪定や伐採を行いたいと考えている。

伊藝議員 伐採をして植樹をすることもできるのか。

安富祖昇総務課長

自然な形で残しながら植樹を考えていきたいが、谷間になっているので状況を判断しながら検討していく。



中川小正門前の雑木(左側)

金武町道の駅基本計画

伊藝議員 金武町道の駅建設に向けて基本計画策定委員会が設置され、協議が行われているが、直売所で販売する農産物、畜産物、水産物、加工品等の調整はされているのか。

生産者に説明等はどういうに行っているのか。

仲間一町長

直売所で取り扱う農産物、畜産物、水産物、加工品等の特産品の詳細については、平成29年度に同委員会での方向性を確認し、平成30年度に運営実施主体の選定、基本計画の策定を行いながら、生産者や関係者への説明会や調整を行っていく。

伊藝議員

農家育成も大事だと思っているが、担当課はどういうふうに考えているか。

安富祖勸産業振興課長

直売所を含めた道の駅の

計画については、一番重要な生産物の供給体制、それにかかわる農家の育成、支援、運営に携わる方の育成、確保が重要なことだと認識している。

伊藝議員

関係団体とのヒアリングは終わったのか。

産業振興課長

ヒアリングは1団体終わっているが、残りの団体はこれからやるという状況で、必要に応じて生産者等への説明会、ヒアリングも随時実施していきたいと考えている。

伊藝議員

ヒアリングが終了している団体はどういった内容なのか。

産業振興課長

農林水産物の供給体制の懸念や、生産業者がうまく連動できるような施設計画等の意見が出た。

伊藝議員

今後、金武町の直売所のほうが農産物の拠点として町外に負けないぐらいに発信していくように

願っているが、その辺はどういうふうに考えているか。

産業振興課長

直売所に関しては、農家が喜ぶ施設になるように最大限努力していきたいと思う。

ただ、やっぱり生産物は一定程度の基準、出荷基準もあり、価格設定もある。この辺は当然、運営者側と農家と納得できるような連携体制、出荷基準等を含めてやって、売るほうも買うほうも喜ぶような直売所にしていきたいというふうに考えている。

伊藝議員

マンゴーやパイナップル等、旬以外の農産物は町内でも厳しいと思うが、その辺の対策は。

産業振興課長

出荷の時期とかは、簡易的な施設でも対応できる部分はしっかり支援しながら生産物の拡大、農家の育成支援に努めていきたいと考えている。

交通安全対策



伊芸 政男 議員

伊芸議員 町道屋嘉60号線

のガードレール設置について、本道路は県道に接続しているため、大型バス等の交通量が多く、歩道のない道路となっている。歩行者の安全を守る観点から早急に対策を講じる必要があると考えるが、町の対応は。

仲間一町長 町道屋嘉60

号線は、国道329号線から屋嘉インターチェンジをつなぐ道路である。大型車の往来も多く、隣接する畑で作業をされている方が危険な状況が確認されている。特にカーブ付近では車両の隣接地への突入事故を防ぐ

ためにガードレールを設置し、事故防止に努めていく。

伊芸議員 町道屋嘉60号線の交通安全対策については、これまで何度か一般質問しているが、前回の答弁の中で、用地の問題等の制約があり、具体的な計画がまとまっていないということだった。

道路の概念として、まず人に優しい、車に優しいという考えが必要。これからは町民が安心して利用できる道路行政に努めてもらいたい。



町道屋嘉60号線

平成29年度施政方針

伊芸議員 生涯学習の振興

について、文部科学省が進める放課後子供教室を各地区公民館において実施し、町内の児童全てを対象に体験活動や交流活動の場を提供すると示しているが、実施状況は。

比嘉貴一教育長 教育委員

員会では、今年度から新たに放課後子供教室を実施している。各地区公民館において、月2回、放課後の午後4時30分から6時30分までの時間で開催しており、これまでに美ら海水族館、沖縄こどもの国、中城海上保安部から講師を招聘し、生き物観察プログラム、おもしろ科学教室、海の安全教室などの体験プログラムを実施している。

伊芸議員 放課後児童健全

育成事業との違いは。

教育長 放課後児童健全育成事業との違いについては、

放課後子供教室は文部科学省の学校、家庭、地域の連携協力推進事業のメニューの一つであり、町内の全ての児童を対象に、さまざまな体験や交流、学習の機会を提供することを目的とする社会教育事業で、希望があれば幼稚園児も受け入れられている。

放課後児童健全育成事業は、厚生労働省の事業として、両親が就労している世帯の小学校1年生から6年生を対象に、保護者が不在の家庭にかかわる生活の場の提供を目的とした福祉事業であり、各地区公民館において月曜日から金曜日の午後2時から午後6時30分まで、土曜日は午前9時から午後6時30分まで開所している。

伊芸議員 実施場所となる

各地区公民館で行っている

ということだが、スタッフは何名か。

新里朝治社会教育課長

社会教育主事を中心としており、教育活動サポートという方が中川区に7名、金武区に6名、並里区に3名、伊芸区に1名、屋嘉区に3名。この方々は子どもたちの安全安心の活動ということで、見守りをしている状況である。

伊芸議員 地域の方々への

呼びかけもあるがどういふうに行なっているか。

社会教育課長 ボランティア

ア募集ということ子ども達の活動の見守りや体験活動プログラムの企画を行うことで、有償ボランティアとして1日2時間の募集を受けている。

伊芸議員 公民館の職員も

関わるのか。

社会教育課長 公民館の職員は関わらず、社会教育課

のスタッフで対応している。



前田 健次 議員

子どもの貧困問題

前田議員 子ども貧困の定義は。

琉球新報の報道によると、山形大学の全国調査では、生活保護費以下の収入で暮らす子育て世代の貧困率は、沖縄県が全国ワーストの37.5%とされている。貧困率は沖縄県が1位である。金武町について、子育て世代の貧困率を把握しているか。

仲間一町長 子どもの貧困の定義についてはさまざまあり、生活保護基準以下の子どもや必要最低限の生活水準が満たされておらず、心身の維持が困難である絶

対的貧困と相対的貧困がある。本町独自の子ども貧困率の算出については、算出に用いるさまざまなデータのうち、生活保護給付などの一部データが町にない、算出が不可能なため、町独自の貧困率は算出できない状況となっている。

県の調査による貧困率の29.9%についても県内町村を除く市のデータをもとに算出しているものである。沖縄県の子どもの貧困率が全国に比べ高い状況であることから、金武町でも同程度またはそれ以上を想定し対策を実施している。

前田議員 町の子どもの貧困の実態調査事業の現状は。

知念久学校教育課長 子どもの貧困状況の調査については、県、既に実施している自治体の調査表を参考に調査内容を検討している。

コンビニエンスストアで住民票等の証明書が取得できるサービス

前田議員 総務省は、個人番号カード、マイナンバーカードを利用して、住民票、印鑑登録証明書などコンビニでの交付サービスの普及、推進を図っている。県内では那覇市、南風原町、読谷村など9市町村が既に実施(平成29年4月現在)となっている。本町の同事業に対する取り組みの計画、実施時期はいつか。

町長 平成28年に内閣官房、内閣府、総務省などの関係府省によりマイナンバーカードのさらなる普及促進を図るため、公的機関への申請手続を簡素化するため、*ワンストップサービスの導入、コンビニ交付サービスの導入による住民の利便性向上や窓口業務の負担軽減などを目的としたプロジェクトが発足されている。

る。

また、コンビニ交付サービスが小規模市町村にも導入しやすくなるよう、運営負担金の減額や特別交付税措置の期限延長など、負担費用の緩和策などを検討しているところである。町は、その動向を踏まえ、導入に向け取り組んでいく。

前田議員 本町の個人番号カードの既取得者及びカード申請状況は。

町長 平成29年6月1日現在、金武町の個人番号カードの申請者数は1055人、そのうち取得者数が683人、残りの372人は地方公共団体情報システム機構においてカード作成中であり、住民生活課に届き次第交付を行っていく。現在の申請率は、町人口比約9%となっている。

*ワンストップサービス ひとつの場所ですさまざまなサービスが受けられる環境

屋嘉地区内町立公園の施設整備・管理

前田議員 町内では、新規でできた公園やリニューアルされた公園は遊具が一新されている。そういった遊具が老朽化し撤去され、空き地同然の公園もある。現在、屋嘉地区内の町立西児童公園は、展望台の利用者もなく、周辺は雑草が生い茂り、遊歩道も歩行困難な状況である。今後、西児童公園の整備、管理等はどう考えているか。

町長 屋嘉西児童公園は位置的に集落から離れており、大人の目が届かず、利用者もいないことから、今年度中に屋嘉区と公園の廃止に向けて取り組んでいく。管理については、屋嘉区に指定管理しているが、本公園は一時避難場所と指定されており、整備については屋嘉区と協議をしていく。



仲間 トム 議員

アカシ海岸パークゴルフ場
整備事業の進捗状況

仲間議員 アカシ海岸にパークゴルフ場の整備計画が予定されているが、現在の状況は。

仲間一町長 福花原から宇謝原において整備が計画されている金武町パークゴルフ場については、平成28年度に基本計画を策定したところである。今年度に実施設計を行い、平成30年度に工事を着手する予定となっている。

仲間議員 パークゴルフ場には主にどのような施設を検討しているか。

町長 パークゴルフ場で

検討している主な施設としては、18ホールのパークゴルフコース、施設の管理を行うクラブハウス及び駐車場等となっている。

仲間議員 アカシ海岸は敷地面積も広く、海と森に囲まれており景観もよく、パークゴルフやスナッグゴルフなどスポーツレクリエーションに最適な環境にあると考える。

今年度に実施設計、平成30年度に工事着工とあつたが、既に設計はできているのか。

金城司企画課長 6月議会で補正予算に実施設計を計上して、可決されたら進めるという形になる。

仲間議員 施設の主な内容として、18ホールパークゴルフコース、それにクラブハウスと駐車場など整備が計画されているが、それ以外には何かないのか。施設はそれだけか。

企画課長

ゴルフコースのほかに、施設の管理を行う事務所とトイレ、あと倉庫が入ったクラブハウスがある。そのほかには、休憩ができる東屋があり、クラブハウスと併設になるが、テラスは108㎡計画しており、そのテラス等の施設になる。

仲間議員 パークゴルフだけで集客が見込めると考えているのか。

企画課長 当該地域は海岸に近い場所にあるが、現在は何もない場所である。ただし、ネイチャーみらい館と近いということもあって、お互いの施設の相乗効果が図られると考えている。

仲間議員 宜野座村は既に運営しており、一時、客数は減っていたようだが、イベント等の宣伝効果もあり、今では、隣接する観光施設の工事中にもかかわらず、休日はもちろん、平日にも

多くのプレイヤーが訪れているのが現状であり、パークゴルフ単体での運営は厳しいのではないかと。

企画課長

28年度に基本計画を策定したが、漢那パークゴルフ場やほかのパークゴルフ場を参考に集客人数を出している。その予想利用人数は2万3148人という数字が出ている。パークゴルフ場に来る人数だが、ネイチャーみらい館のほかにも、ギンバル訓練場跡地が近くにあり、今後、ホテルとかビーチとか整備されていく。そういった人たちの利用も今後取り入れることが可能だと考える。

集客に関してはある程度クリアできるものと考えている。

仲間議員

複数のテーマを丸として、多種多様なテーマパークを目指すべきではないか。

企画課長

パークゴルフ



パークゴルフ場整備が計画されているアカシ海岸

場を整備して、その集客を鑑みて、ほかの施設とか併設できるのか、周辺の施設と連携できるのか、そういったものも検討する余地はあると考える。



崎浜 秀幸 議員

大型犬の飼育管理

崎浜議員 去った5月17日、軍属男性の飼い犬(大型犬)が国道を歩いているのを発見され、住民に不安を与えた件について飼い主の管理責任は。

仲間一町長

現在、米軍・

軍属に関する基地外での居住については、日本国の住民基本台帳法に基づく住民登録が適用されないため、飼い主の管理責任については、在日米軍からの管理指導がなされていると受け止めている。

崎浜議員

町の対応は。

町長

大型犬の徘徊を発見した町民から、金武町役

場で連絡を受け、その後住民生活課、総務課、中川区職員で現場周辺をパトロール。さらに教育委員会を通じて中川小学校に連絡し、金武町内全域にページング放送での注意喚起、中川区防災無線で注意喚起を行った。夕方に飼い主の確認ができた

きんたーランド使用管理

崎浜議員 設置の目的は。

町長

きんたーランド

は、子供が安全で安心して遊べる施設として、また、子育て中のお父さん、お母さんの憩いの場、お年寄りとの世代間交流の場として、地域における子育て支援を目的に設置している。

崎浜議員

管理責任は。

町長

きんたーランド

の管理については、金武地区公園内の施設として、建設課から教育委員会に管理を移している。

崎浜議員

使用規定は。

町長

使用規定等について

では、金武町立公園の設置及び管理に関する条例施行規則に、利用時の禁止事項や制限事項を定めているほか、安全に使用してもらうための注意事項の看板を日本語及び英語表記で設置している。

崎浜議員 事故が発生した時の対応は。

町長

管理上の瑕疵による事故については、町の責任において対応することになっているが、それ以外の事故等については自己責任となっている。

崎浜議員

たーランドは

区分けされているが、どういった意味で区分けしているのか。

新里朝治社会教育課長

年齢によって区分けをしている。すくすくランドという3歳未満の専用の遊具。ブランコの対象年齢が3歳から6歳、大きな遊具については6歳から12歳という年齢で分けられている。

来年の町長選

崎浜議員

町長は町民に約束した公約実現のため全力で取り組んできたと思

っている。まだ道半ばだと思いが、来年の町長選に向けて出馬する意向はあるか。

町長

現在、役場職員や多くの町民の御理解と御協力を仰ぎながら、公約実現に向け、全力で取り組んでいる。多くは実現できなかったものの、まだ実現できていない事業、新たにスタートする事業があり、まだまだ道半ばだと感じている。

ギンバル訓練場跡地へのホテル等の建設計画のめどがつけられているところだが、引き続き、企業誘致を含めた雇用創出、町の活性化に向け頑張っていく。

その他の質問事項

認定子ども園とアドバイザーの位置づけ



使用注意事項の看板

平成29年 第2回（6月）定例会

平成29年第2回定例会が6月13日(火)に招集され、6月16日(金)までの4日間の会期で開催された。

一般質問では14名の議員が登壇した。

各会計の補正予算や条例改正、工事請負契約などの議案が上程され審議を行った。このうち教育長の任命については、これまで教育委員会会議において教育委員のうちから選任されていた教育長を、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、議会の同意を経たうえで首長が直接任命することとなったことからそのための議案がはじめて提出された。

議決結果については、下記のとおり。

平成29年 第2回（6月）定例会 議決結果一覧

議案名と主な内容	議決結果
<p>専決処分の承認について(平成28年度金武町一般会計補正予算(第6号))</p> <p>歳入歳出予算の総額94億7,492万7,000円に歳入歳出それぞれ3,892万7,000円を追加し、補正後の予算総額を95億1,385万4,000円とするもの。平成28年度に予算計上した、伊芸地区公民館整備改修工事、屋嘉地区公民館設備改修工事については石油貯蔵施設立地対策等補助金を充当して実施する予定だったが、補助事業として実施することができなかつたため、交付額が確定した特別交付税に組み替える補正予算を年度末に作成した。</p> <p>本件は、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認め、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行い、議会へ報告し、承認を求めるもの。</p>	承認 (賛成多数)
<p>専決処分の承認について(金武町税条例の一部を改正する条例)</p> <p>地方税法の一部を改正する法律等が平成29年3月31日に公布されたことに伴い、金武町税条例の一部を改正し、平成29年4月1日から施行する必要があるため、同条例の改正について議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認め、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行い、議会へ報告し、承認を求めるもの。</p>	承認 (全会一致)
<p>専決処分の承認について(金武町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)</p> <p>地方税法施行令の一部を改正する政令が平成29年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されることに伴い、国民健康保険税の均等割額及び平等割額を減額するための算定基準に変更が生じた。それに伴い、金武町国民健康保険税条例の一部を改正し、平成29年4月1日から施行する必要があることから、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないと認め、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行い、議会へ報告し、承認を求めるもの。</p>	承認 (全会一致)
<p>平成29年度金武町一般会計補正予算(第1号)</p> <p>歳入歳出それぞれ1億1,751万5,000円を追加し、補正後の予算総額を87億3,172万4,000円とするもの。補正の主なものは、歳入で総務費国庫補助金の2,460万円の増、総務費県補助金1,788万7,000円の増。歳出で財産管理費の3,533万1,000円の増、企画費の1,470万3,000円の増、橋梁維持費の1,548万8,000円の増である。</p>	原案可決 (全会一致)

議案名と主な内容	議決結果
金武町財政調整基金の処分について 総務管理費、道路橋梁費、社会教育費へ6,000万円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
平成29年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出予算の総額23億6,108万6,000円に歳入歳出それぞれ3,541万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額それぞれ23億9,650万1,000円とするもの。	原案可決 (全会一致)
負担付き寄附の受け入れについて(金武区) 金武区学習等供用施設消防設備改修工事に充てることを目的に、金武区から負担付き寄附の申し入れがあり、地方自治法第96条第1項第9号の規定により、議会の議決を得る必要があるため提案するもの。	原案可決 (全会一致)
平成29年度金武町水道事業会計補正予算(第1号) 収益的支出の第1款水道事業費用、4億772万2,000円に33万7,000円を加え4億805万9,000円とするものである。補正の主なものは、人事異動に伴う人件費の増額である。	原案可決 (全会一致)
金武町個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例について 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、条例の規定を整理する必要があるため、提案するもの。	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(町道金武150号線整備工事) 契約金額 5,452万9,200円 契約の相手方 有限会社富島建設	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について(宇謝進入路改修工事(1工区)) 契約金額 7,158万2,400円 契約の相手方 株式会社丸政工務店	原案可決 (全会一致)
教育長の任命について 比嘉貴一氏を、教育長に任命するため同意を求めるもの。	原案可決 (全会一致)
教育委員の任命について 現委員渡慶次賀佑氏が、平成29年6月25日をもって任期満了となり、その後任として油井かずみ氏を任命するため同意を求めるもの。	原案可決 (賛成多数)
議員派遣に関する決議	可 決 (全会一致)

用語解説

専決処分とは・・・

議会の権限に属する事項について、町長が議会に代わって意志決定を行うことの出来る制度。専決処分を行った場合、議会の議決と同じ効力がある。専決処分を行った場合は、後の議会において承認を求めなければならない。仮に議会の承認を得られなかった場合、専決処分の効力に影響はなく、町長の政治的責任が残ることとなる。

産業建設委員会 所管事務調査

産業建設委員会では本町のギンバル訓練場跡地に進められている民設民営による「温泉施設整備事業」及び「道の駅整備構想」について、地域住民との連携をどのように図り、どのようなまちづくりを行っているのか、議会としての立場で県内外の先進地の事例を調査した。

調査事項：・温泉を活用した「まちづくり」についての調査
・道の駅を活用した特産品と商品内容についての調査

場所：①平成29年5月17日(水)
・国頭村(道の駅 ゆいゆい国頭 国頭村観光物産センター)
・大宜味村(道の駅 おおぎみ)
・宜野座村(道の駅 未来ぎのぞ)
②平成29年5月23日(火)
・栃木県宇都宮市(道の駅 うつのみや ろまんちっく村)
③平成29年5月24日(水)
・埼玉県小鹿野町(道の駅 両神温泉薬師の湯)

まとめ

調査した県内3村の道の駅、県外2市町の温泉併用道の駅ともに、地域農業者との連携を図り、地域振興に取り組んでいる。規模や課題はそれぞれの地域の特色によって違いがあり、聴き取りすることで我が町で計画されている道の駅計画の規模や組織、経済効果または福祉・住民サービスの観点から金武町に適した計画を策定する際の基本的な根拠や目的づくりの調査を実施した。

また、温泉施設に関してもさまざまな課題はあるが、今回道の駅との併用施設を視察し、「温泉」と「道の駅」の特徴を活かし、観光客や地域住民どちらのニーズにも向き合い、交通手段や駐車場の確保などに取り組む努力がなされていた。



国頭村での研修



埼玉県小鹿野町での研修

町村議会議長・副議長研修会

5月31日(水)、中野サンプラザホール(東京都)で全国町村議会議長会主催の町村議会議長・副議長研修会が開催され嘉数義光議長と大城一之副議長が参加した。研修会では全国町村議会議長会から町村議会特別表彰を受けた北海道浦幌町議会と京都府精華町議会の両議長から議員のなり手不足や議会活性化の取り組みについて事例発表があった。また、地方自治総合研究所の今井照主任研究員が「大震災における自治体と議会の使命」、新潟県立大学国際地域学部の田口一博准教授が「議長・副議長のあり方」と題して講演を行った。



北部市町村議会議長会視察研修

6月1日(木)から3日(土)までの日程で北部市町村議会議長会が北海道で視察研修を行い嘉数義光議長と上原浩議会事務局長が参加した。別海町では全国初の「中小企業振興基本条例」を制定し行政と中小企業の協働による地域経済活性化の取り組みや雇用の確保、定住環境の整備について視察を行った。また、昨年やんばる国立公園が指定されたことから羅臼町で知床自然遺産地域の取り組みについて視察を行い、今後北部地域がとるべき方策について調査した。



北部市町村議会議員・事務局職員研修会

7月6日(木)、伊平屋村産業連携拠点センターにおいて北部市町村議会議員・事務局職員研修会が開催された。研修会では、名桜大学人間健康学部の高瀬幸一教授が「沖縄の健康が危ない」と題して疾病別の全国の死亡率や平均寿命が伸びている長野県における事例を紹介し、平均寿命が低下した沖縄の健康長寿復活のために戦後のアメリカ占領下で広がった食の欧米化を改め、車社会による運動不足解消を図る必要があると述べた。講演終了後には、伊平屋村内の視察、スポーツレク大会と交流会が開催された。



高瀬幸一氏



町村議会正副議長・正副委員長研修会

8月8日(火)、ちやたんニライセンターにおいて町村議会正副議長・正副委員長研修会が開催された。研修会では沖縄県子ども生活福祉部子ども未来政策課の喜舎場健太課長が「沖縄の子どもの貧困問題の解消に向けて」と題して県内の子どもを取り巻く現状や沖縄県子どもの貧困対策計画についての説明があった。また、同志社大学大学院の新川達郎教授が「災害時における議会の役割・対応」と題して大規模災害時における議会の業務継続計画や議会がとるべき対応などについて講演があった。



喜舎場健太氏



新川達郎氏

研修受入れ 金武町議会では2町議会の研修を受け入れた。

○ 岡山県矢掛町議会

7月10日(月)、岡山県矢掛町議会の総務文教常任委員会が金武町を訪れ海外ホームステイ補助金交付事業について研修を行った。学校教育課の担当者から事業の概要、これまでの実績、同事業以外に町が実施している海外への派遣事業などについて説明した。



○ 久米島町議会

8月7日(月)、久米島町議会の議会活性化特別委員会が金武町を訪れ研修を行った。研修では学校教育課が子ども議会について議員選出から開催までの一連の流れを説明し、昨年の様子を動画で紹介した。また、議会事務局から政務活動費導入の経緯、これまでの執行状況について説明した。



傍聴案内

議会を傍聴してみませんか。9月定例会は、9月13日(水)開会を予定しております。日程が決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。詳細については、議会事務局へお問い合わせください。

金武町議会事務局

有線電話：8-2292 NTT：098-968-2292